

ふみびと

第285号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

身近にある魔法の言葉

たった一言で

学生の頃にやっていた飲食店のアルバイト。とても厳しくて忙しいこともあり辞めてしまう人も多かったのですが、それでも長年続けることができたのは、他にやりたいことがなかったからでも、給料がよかったからというわけでもなく、お客様からいただく「おいしかった」「ありがとう」という、ただその一言が何より嬉しかったから。

「魔法の言葉」は、今でも私にとって働く動機になっているような気がします。そんなことをふと思つたのは前に母と話した時のことを思い出したから。私が子どもの頃、母は私たち兄妹が食べたいと言えば、今にして思えば作るのが面倒な料理も嫌な顔一つせず作ってくれていました。

もちろん手間のかかる料理を、急に食べたいと言われて一から作ることに面倒でないことはなかった。母は料理が好きになつていなかったかもしれない、そう思うとたつたと思つたのですが、それを喜んで食べる子どもたちを見たり、「おいしい」という一言を聞けるのが何より嬉しいことで、料理が好きだという理由なのだと気がした。



年々、寒さが苦手になる。まだ秋のうちから、朝晩の冷え込んだ空気に身をすくめてしまふけれど、冬が嫌いかと言つとそついつわけてもない。寒さ自体は苦手だけれど、だからこそ冬にたくには力が入る。来るべき冬をできるだけ快適に楽しく過ごせるようにと、あれこれと考える。暖かい服

うかとかタログを調べてみたり、芯から温まりそうな料理にチャレンジするのでもいいなとレシピを眺

苦手も楽しみに

をタンスから引つ張り出してきたり、フカフカのルームシューズを新調したり。今年こそ炬燵を買おな風にいろいろと考えているうちに、冬が待ち遠しくなつてきてしまふ。冷え冷えとした冬の空気を胸いっぱい吸い込むことさえ楽しみななつて、寒さもこわくなくなつてくるのだ。

た一言の言葉の強さを感じます。時に人の人生を変えるほどの効果があるたつた一言の「魔法の言葉」。それを知らず知らずのうちから母から教わっていたのかもしれない。「いつも手紙を楽しみにしています」時折いただく皆さんからの「一言」も何よりの励みになつています。手紙の遙か向こうで筆を走らせている村人の皆さんが、次の手紙を楽しみに待っている。そんなささやかなひと時の笑顔を思い浮かべて。

11月の発送日は各回とも通常通り(15日、30日)の予定です。送りたいお手紙がある場合には、それぞれ2日前(13日または28日)までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもってポストに投入してください。

次回発送日

新機能追加

マイページ上の「ふみ友リスト」において、3色で色分けができるようになりました。また、文友リスト内のふみ友の表示を、現在村に在籍する方を表示する仕様に変更しました。是非一度お試しください。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務局宛の返信用筒に封下し、郵便局までお持ちください。

